認定こども園（2号3号認定・1号認定）・中士幌保育園　教育・保育給付認定申請書兼入園申込書　9

※新規　児童用

令和　　年　　月　　日

士幌町長　宛

以下のとおり、施設型給付費・地域型保育給付費に係る教育・保育給付認定を申請し、入園を申込みます。
町が施設型給付費・地域型保育給付費等の教育・保育給付認定に必要な市町村民税等の情報（同一世帯者を含む。）及び世帯情報を閲覧することや、その情報に基づき決定した利用者負担額について、特定教育・保育施設等に対して提示することに同意します。なお、特定教育・保育の開始に際しては、入園のしおり等の「重要事項説明書」の記載内容等に同意し、小学校、他の特定教育・保育施設等、地域子ども・子育て支援事業を行う者その他の機関に対して、教育・保育給付認定子どもに関する情報を提供することに同意します。

保護者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

児童名	ふりがな		性別	生年月日	備考※
	氏名		男・女	年　月　日生	
児童名	ふりがな		性別	生年月日	備考※
	氏名		男・女	年　月　日生	
児童名	ふりがな		性別	生年月日	備考※
	氏名		男・女	年　月　日生	
住所	〒 （連絡先）				
	令和　8　年1月1日現在の住所		士幌町内　・　町外（　　市・町・村）		

世帯の状況（申込児童を除く）	続柄	氏名	生年月日	就労状況（勤務先・学校名）	備考※
	父（　）以外の場合	ふりがな			
	母（　）以外の場合	ふりがな			

生活保護の適用	適用無し　・　適用有り

保育の希望（どちらかに☑）	□	保護者の労働又は疾病等の理由により、認定こども園（2号3号認定）、中士幌保育園を希望する。※保育所型　⇒ **裏面にも記入欄があります。**
	□	認定こども園（1号認定）を希望する。※幼稚園型　⇒ **表面のみ記入ください。**

認定者番号		※既に認定を受けている場合は記入
利用希望期間	令和　年　月　日　から　令和　年　月　日　まで	
利用希望施設	※認定こども園の利用を希望する場合は、2号3号認定もしくは1号認定を選択してください。	
	第1希望	2号3号認定・1号認定　（希望理由）
	第2希望	2号3号認定・1号認定　（希望理由）

●保育の利用を必要とする理由等

続柄	保育を必要とする理由	勤務日数	勤務時間
父 (　) 以外の場合	□就労 □妊娠・出産 □疾病・障害 □介護等 □災害復旧 □求職中 □就学 □その他(　　)	曜 ～ 曜 週 日勤務	時 ～ 時 1日 時間勤務
母 (　) 以外の場合	□就労 □妊娠・出産 □疾病・障害 □介護等 □災害復旧 □求職中 □就学 □その他(　　)	曜 ～ 曜 週 日勤務	時 ～ 時 1日 時間勤務

家庭の状況	□ひとり親家庭　□同居親族に障害者がいる世帯　□左記以外	
利用の希望	利用したい曜日	利用したい時間
	曜日から　曜日まで	時　分から　時　分まで

※この申請書のほか、「勤務証明書」等の証明書類の提出が必要です。

記入上の注意

この申請書は、利用を希望する施設に提出して下さい。
同一世帯から4人以上の児童が申請を行う場合は、幼児教育課総務係に申し出てください。備考※欄については、個人番号を記入願います。

(表面)

1 「申請児童」の欄は、「氏名」に必ずふりがなを付して下さい。
2 申請児童について、障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等)がある場合は、幼児教育課総務係に申し出てください。
3 「住所」欄の(連絡先)については、連絡がつきやすい電話番号を記入して下さい。
前年度の1月1日時点で他市町村に住民票があった方は、前住所地で課税状況がわかる書類を取得して添付して下さい。
4 「世帯の状況」の欄は、同居している親族等の全員について記入して下さい。
5 「利用希望期間」の欄は、希望する期間を記入して下さい。
6 「利用希望施設」の欄は、希望する順に施設名を記入し、また、その施設を希望する理由(既に兄弟が利用しているため、延長保育(預かり保育)を実施しているため、距離が近いため等)を記入して下さい。

(裏面)

7 保育の認定基準は、次の表に掲げるような場合です。
保育の必要性の認定を受ける場合は、両親いずれもが次のいずれかの事情にある場合です。

(1)1月において、48時間以上労働することを常態とすること。
(2)妊娠中であるか又は出産後間がないこと。
(3)疾病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障がいを有していること。
(4)同居の親族(長期間入院等をしている親族を含む。)を常時介護又は看護していること。
(5)震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。
(6)求職活動(起業の準備を含む。)を継続的に行っていること。
(7)教育施設に在学していること。
(8)職業訓練を受けていること。
(9)児童虐待を行っている又は再び行われるおそれがあると認められること。
(10)配偶者からの暴力により小学校就学前子どもの保育を行うことが困難であると認められること。
(11)育児休業の間に当該特定教育・保育施設等を引き続き利用することが必要であると認められること。

8 「保育を必要とする理由」の欄は、該当する全ての□にチェック(☑)し、かつ、その具体的な状況について、右欄に記入して下さい。なお、(1)～(7)の場合以外で児童を保育できない理由がある場合は「その他」にチェック(☑)し、内容を(　)内に記入して下さい。
9 「家庭の状況」の欄は、該当する□にチェック(☑)してください。
「同居親族に障害者がいる世帯」をチェック(☑)した場合は、身体障害者手帳・療育手帳の写し、または特別児童扶養手当・障害基礎年金の証書の写しを添付していただく場合があります。

(留意事項)

教育・保育給付認定(保育の必要性の認定)及び入所(園)においては、次の場合がありますのであらかじめご承知下さい。

- 保育の認定基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合
- 希望者が多数いるため、希望する施設に入所できない場合
- 保育の認定基準の該当事由により利用期間の希望に添えない場合

認定	認定の可否		認定者番号	認定区分	受付印
	可・否	(否とする理由)		□1号　□2号　□3号 (□標　□短)	
入所	入所の可否		入所施設名	入所期間	
	可・否	(否とする理由)		自 令和　年　月　日 至 令和　年　月　日	
備考					